

令和7年度使用する教科書の採択に係る議事録

1. 開催日時 令和6年7月22日(月) 13時30分～15時45分
2. 開催場所 川辺町中央公民館 1F 研修室
3. 出席者 教育長 白村茂
教育委員 平岡雅憲
教育委員 大脇一二三
教育委員 大脇香美
教育委員 岩井孝典
教育支援課長 鈴木秀樹
生涯学習課長 佐伯毅彦
教育支援課主幹 後藤修

4. 議 事 令和7年度使用する教科書の採択について (教育長)

- ・令和7年度使用する教科書採択について事務局の説明を求めます。
なお、説明質疑は教科ごとに行います。

(教育支援課長)

・小学校については、令和6年度使用の教科書と同一の教科書採択することになっています。これは、教科書の改訂が4年ごとに行われているためです。また、中学校については、全ての教科書について令和6年度使用している教科書と異なる教科書を採択することができます。

なお、教科書採択にあたっては、令和6年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会より、小中学校の採択原案が示されています。

それでは、中学校用教科書について説明をします。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明(国語)
質疑意見なし

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明(書写)

(平岡雅憲委員)

- ・教科書の厚みも評価の対象になりますか。

(教育支援課長)

- ・厚みも評価の対象になります。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（社会（地理・歴史・公民））

(平岡雅憲委員)

- ・社会科の発行者は多い気がするが何か理由がありますか。

(教育支援課長)

- ・特に歴史については発行者が9者と多くなっています。

(教育長)

- ・歴史については歴史認識の考え方などで発行者が多いと考えられます。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（地図）

(主幹)

- ・帝国書院の方が、地図の色使いに馴染みがある印象があります。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（数学）

(教育長)

- ・今回は、発行者が大日本図書から東京書籍に変更になっています。

(主幹)

- ・東京書籍は、先に進んだ学びが可能となっており、個別最適な学びの項目の評価が高くなっています。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（理科）

(平岡雅憲委員)

- ・東京書籍は、実験実習が多い感じがします。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（音楽・一般）

(大協一二三委員)

- ・カラピアノはQRコードで取得できるのですか。

(教育支援課長)

- ・教科書のQRコードを携帯やタブレットでスキャンすれば、アルト、ソプラノ、カラピアノなどのパートごとの音声データが出ます。

(平岡雅憲委員)

- ・パートごとのデータが取得できるのは評価できます。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（音楽・器楽）

質疑意見なし

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（美術）

質疑意見なし

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（保健体育）

質疑意見なし

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（技術）

(主幹)

- ・東京書籍は、プログラミングを取り入れた部分があり、継続性があり、分野ごとに分かりやすく評価できる。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（家庭）

(教育長)

- ・学校では、家庭科の専門の先生がやっていますか。

(主幹)

- ・専門ではない先生の場合もあるので、指導しやすい教科書が評価できます。

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（英語）

質疑意見なし

(教育支援課長)

- ・教科書採択について説明（道徳）

(主幹)

- ・今の道徳は、教師が一つの価値を教えるのではなく、様々な考えを議論していく事が重要となっている。その点で、光村図書は評価できます。

(教育長)

- ・全体を通して何かありますか。

質疑意見なし

(教育長)

- ・それでは、川辺町で令和7年度使用する小中学校の教科用図書は、岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の選定のとおり採択することに、ご承認いただけますか。

(教育委員全員)

- ・全員一致で承認

(教育長)

- ・全員一致で承認となりました。ありがとうございました。